

多摩市におけるコミュニティー花壇のあり方について

研究代表者:宮内泰之

共同研究者:小林幹夫、長谷川陽子、丸山美夏、君塚亜紀、澤登早苗

The Future of Community Flower Bed in Tama City

MIYAUCHI Yasuyuki, KOBAYASHI Mikio, HASEGAWA Yoko,
MARUYAMA Mika, KIMIZUKA Aki, SAWANOBORI Sanae

Abstract

1. Overview of Tama Center Station Flower Bed Project
2. Development of Tama Center Station Flower Bed Project
3. Outcomes and Problems
4. Surveys of the Adopt Flower Bed in Tama City

はじめに

多摩市のアダプト制度とは、ボランティアの市民や市民団体のグループ、大学、企業などが、公園や道路にある一定の区域について、緑化や清掃美化活動を行う市民参加の制度である。2003年4月に本格導入され、現在、公園施設等に48団体、道路施設等に58団体が参加し、それぞれ活動を行っている。

本稿では、多摩市におけるコミュニティー花壇のあり方(管理方法、技術の向上、ボランティア養成等)を検討することを目的として、アダプト制度に基づく花壇活動(以下アダプト花壇とする)の実践と、花壇ボランティアの活動状況の実態調査を行っ

た。最初にアダプト花壇の実践事例として、「多摩センター駅前花壇プロジェクト」の概要と、これまでの活動状況を報告する。市民グループと協働で行ったこの活動を通して、コミュニティー花壇における大学の役割と学生の学びについて検討する。次に、多摩市内のアダプト花壇を対象に行った実態調査について報告する。特に、本学で実践している宿根草主体で、ローメンテナンス・ローコストの花壇の普及は重要であると考える。そこで、市内のアダプト花壇で実際に使われている花壇材料を精査し、本学が目指すコミュニティー花壇の普及における課題を明らかにする。

1. 多摩センター駅前花壇プロジェクトの概要

2003年度、恵泉女学園大学ではパルテノン大通りにおいて、コンテナによる草花の維持管理としてアダプト制度への参加を開始した。2006年度以降は京王プラザホテル前の区画に移動し、エコロジカル・プランティングの手法にもとづく環境負荷の少ないモデル花壇とした。この花壇は宿根草主体のローメンテナンス・ローコストの植栽設計となっており、現在も活動を継続している(丸山・西村、2013)。

2014年度、アダプト花壇としてハローキティストリートの2カ所の区画が加わった。これを社会園芸学科2年生ゼミ(学科生全員の必修の合同授業)での地域貢献活動の実践場として活用することとし、「恵泉多摩センター駅前花壇プロジェクト」として活動を開始した。活動の目的は、①地域の一員としての役割を体験することにより、自己肯定感を高め、社会における自身の可能性を見出すこと。②草花栽培、花壇づくりの技術を身につけ、これを他者に役立てることができるようになる。③地域の方々と学生との協働により、質の高いみどりを創出し、地域活性化、豊かな住空間の実現をめざす。以上3点である。①、②は学生の成長を、③は学生だけでなく地域貢献を念頭におき、これらを通して社会園芸学科の理念である「人と人との豊かな関係の構築」と、多摩しみどりのルネッサンスで提唱する「関わるみどり」の実践を目指している。

2. 2017年度までの多摩センター駅前花壇プロジェクトの展開

2014年度以降、活動を以下のように展開してきた。

<2014年度>

春学期:2年生ゼミでの地域貢献活動の実践場として花壇活動を開始。以降、毎年継

続。

秋学期:2年生有志による課外活動として継続。

<2015年度>

春学期:前年度秋学期に活動した学生が3年生となり、指導的立場として活動に関わる。

9月:多摩市みどりのルネッサンスシンポジウムにて駅前花壇プロジェクトの活動を3年生が発表。

秋学期:社会園芸学科専門特殊科目の「社会園芸実践法」「社会園芸実践Ⅰ」を開講。

これまで有志によって行われてきた課外活動が、授業として単位化される。

<2016年度>

春学期:「社会園芸実践Ⅱ」を開講する。

秋学期:

12月:市民グループの方から、本プロジェクトへのご協力についての打診を受ける。「社会園芸実践Ⅰ」の履修生と話し合いの結果、近隣住民の方からのお申し出をお受けし、協働で活動を展開することを決定する。以降、市民グループの方々と来年度以降の活動について話し合いを重ねる。

2月:恵泉女学園大学ホームページに、駅前花壇で「まちづくり」のページを開設し、活動報告を開始する。

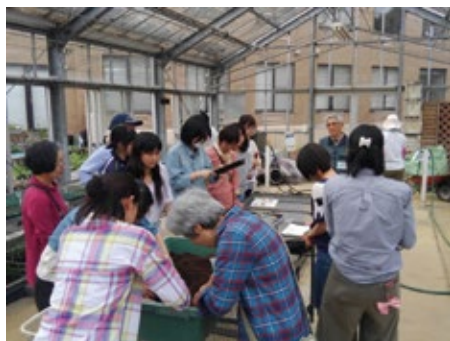
3月:多摩市道路交通課の方を交えて、今後の活動について打ち合わせを行う。

<2017年度>

春学期:ハローキティストリートの花壇が1区画増える。これを「ハッピーシェアガーデン」と名付け、市民グループと恵泉女学園大学との協働での活動を開始する。

4月:市民グループの方々を大学にお招きし、初めての協働作業として、夏秋花壇の苗の種まきを行う。

5月:多摩市道路交通課、市民グループ、恵泉女学園大学、3者の会合を実施し、今後の花壇の運営、花



壇デザイン等について意見交換を行う。

6月:花苗の植え付けを協働で行う。

秋学期:市民グループとの活動を継続する。

1月:多摩市健幸・支えあいフォーラムにて、本プロジェクトの活動を発表する。

3. 成果と課題

2016年12月、市民グループの方からご協力の打診をいただいた際、当時主体となつて活動していたのは2年生2名であった。このお申し出を受けて、当初、2名の学生は「学生だけで行ってきた活動に混乱をきたすのではないかと危惧しており、市民グループとの協働については消極的であった。しかし、話し合いを重ねる中で、市民グループの方の熱心な気持ちに動かされ、半信半疑ではあるがとりあえず協働で活動を行っていくこととなった。その際、教員が前面に出るのではなく、学生が主体となり市民グループの方と活動を展開していくことを重視した。その結果、学生にとって以下の成果が得られ、また課題が浮き彫りになった。以下は学生の振り返りの中で出てきた言葉をそのまま記す。

<成果>

- ・ 実際に市民の方と活動を行うことで、学生の学びのためだけではなく、学生の自己満足で終わらない花壇づくりができた。
- ・ 市民の方とのつながりができ、多摩市に貢献できた。
- ・ 公共の場にある花壇なので、そこを普段使う人の意見に耳を傾けることでより良い花壇づくりができることを学んだ。
- ・ 学生だけでは出てこない案もたくさん出た。市民の方と行ったからこそ、今の駅前花壇を作ることができた。

<課題>

- ・ ポーダー花壇のデザインを踏襲し、小さな花苗をハッピーシェアガーデンの花壇に植え付けたが、「花がない時期（植え付け後すぐ）が寂しい」というご意見をいただいた。市民の方々のご要望への対応を検討する必要がある。
- ・ 雑草の繁茂、土壌の飛散。これについては、地被植物（ペニーロイヤルミント）の植え付けにより対応した。

- ・ 花壇へのごみのポイ捨て、踏み込み、看板へのいたずら、カラス、ハトなどのいたずらがみられた。
- ・ 学生が参加しやすい授業編成とはなっていなかった。

駅前花壇プロジェクトは駅前という公共空間で活動を行ってきたが、2016年度の春学期までは市民の方との関りは薄く、地域貢献の実践の場としては不十分であった。しかし、2016年度秋学期より、市民グループとの協働により、園芸を仲立ちとして人と人をつなげる社会園芸学を実践する場とすることができた。「社会園芸実践」の履修生は園芸技術を習得するだけでなく、市民の方々との協働を通して社会人としての意識を高めることもできたと考えられる。しかし、2年生ゼミでは市民の方々との交流はほとんどなかったため、この点については大きな課題である。また種から苗を育て、花だけでなく苗が育っていく過程をも観賞対象とする恵泉が重視する花壇づくりを実践したが、市民の方からは「花がない時期が寂しい」というご意見をいただく結果となった。これに対して、2017年度の活動では、ハッピーシェアガーデンに設置した看板で花壇の説明をするとともに、学生の発案によりチューリップの球根を植えるなどの対応を行った。この点については、今後さらに検討していく必要がある。学生の振り返りには出てこなかったが、課題の一つに夏休みなど長期休暇中の除草や水やりなどが市民グループの負担になってしまったことがある。この点については、2016年度の春休みから、定期的に協働活動日を設定して負担が市民グループに偏らないように対応した。様々な課題が浮き彫りとなったが、高齢化により活動継続が困難になりがちな市民グループにとっては、学生との協働は活動の活性化という点でよい影響をもたらしたことと思われる。コミュニティー花壇のあり方を今後検討していく上で、本活動をさらに継続し成果と課題の分析を深めていく必要がある。

4. 多摩市道路アダプト花壇の実態調査

(1) 目的

多摩市では車道や歩道沿いの街路、公園、団地内やその周囲等の公共空間に、市民ボランティア等により多くのコミュニティー花壇がつくられ、維持管理されている。このうち、立ち止まって観賞することはもとより、通行中意識的に、もしくは無意識の

うちに視界に入る存在である街路沿いの花壇は、市民だけでなく市を訪れた人々に対しても多摩市を印象付ける重要な景観構成要素となっている。そこで本稿では、市内街路沿いの花壇デザインの実態を明らかにすることを目的として、街路沿いの花壇のうち道路アダプト制度に登録している花壇を対象に、植えられている植物の種類や構成等について調査を行った。

(2)方法

表1は、多摩市道路施設等の管理に係るアダプト(里親)制度の参加団体一覧表である。アダプト制度に参加している全58団体のうち、46団体が活動内容として花壇に関わるものを取り上げている。このうち、35団体43ヵ所の花壇について、2018年10月2日～30日にかけて、夏秋花壇の現状調査を行った。現状調査は原則として1団体1花壇としたが、一つの団体が複数の花壇を管理していた8団体については、その中で典型と思われる花壇を2ヵ所抽出し調査を行った。具体的には、Braun-Blanquetの全推定法による植物社会学的な調査方法を応用し、花壇の面積、階層構造と各階層の高さと植被率および優占種、各階層の出現種とその被度および群度などを記録した。被度と群度は図1、図2に示す通りである。

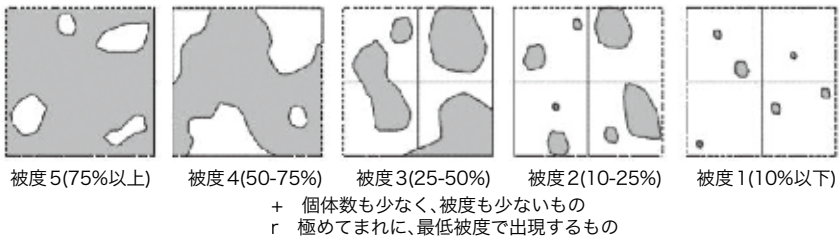


図1 被度階級の模式図

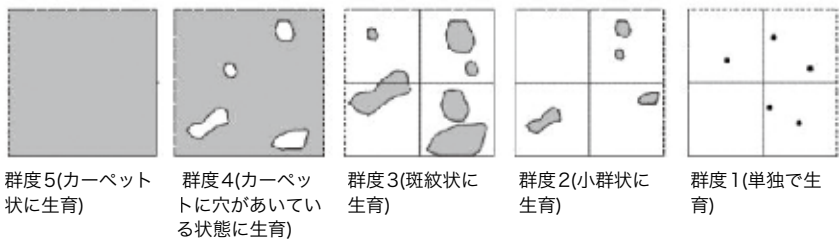


図2 群度階級の模式図

表1 多摩市道路施設等の管理に係るアダプト(里親)制度の参加団体一覧表(多摩市HPに一部加筆)

No.	花壇	名称	場所	内容
1		TKフラワーロードの会・緑宝園(園芸センター)	豊ヶ丘2-31-3地先 5-1幹線(貝取大通り)	街路内植樹帯の花壇管理 除草・清掃
2	●	瓜生自治会	永山2-19-26地先 4-31歩線	街路内植樹帯の花壇管理; 除草・清掃
3	●	プロムナード多摩中央地区管理組合(プロムナード緑化部会)	落合5-2-7地先 5-35歩線	街路内植樹帯の花壇管理 除草・清掃
4	●	マロニエ径の会	鶴刈4-5,6地内 6-5歩線	ベテ内花壇管理 除草・清掃
5	●	貝取こぶし館	貝取4-5地先 5-13歩線	街路樹への樹名版設置及び管理;周辺の花壇管理と清掃
6		おちあひ・つるまきガーデンクラブ	落合6-1地先; 5-28歩線; (公園落合6丁目ハイソ前)	ベテ内花壇管理 除草・清掃
7		ひまわりクラブ	落合5-8地内 5-28歩線	ベテ内花壇管理 除草・清掃
8	●	おだキッズアダプト会	落合5-6地先5-39歩線 (西落合小東側)	ベテ清掃及び花壇管理 除草・ゴミ拾い
9	●	エステイメール クリーン たんぼぼ	栗原4-41地先 2-14歩線	ベテ清掃及び花壇管理 除草・ゴミ拾い
10	●	いこいの広場	雨訪4-1地先 4-10歩線	ベテ清掃及び花壇管理 除草・ゴミ拾い
11		榎ヶ丘南口商店街	一ノ宮3、東寺方1、関戸4丁目 1-1幹線・1-3幹線	道路清掃 ゴミ拾い
12		KSC貝取さんぽ道の会	貝取2-6地先 5-7、8歩線 ベテ内	ベテ清掃及び花壇管理 除草・ゴミ拾い
13	●	新都市センター開発(株)	落合1-45 5-33歩線 40mベテ内 パルテノン大通り(三越前十字路)	植樹帯内花壇管理及び周辺のベテ清掃
14	●	恵泉女子園大学	落合1-45 5-33歩線 40mベテ内 パルテノン大通り(三越前十字路)	植樹帯内花壇管理及び周辺のベテ清掃
15		鶴六アダプト会	鶴刈6-1地先 6-4歩線	道路清掃(ベテの草刈と落葉時の落葉清掃)
16	●	諏訪の社アダプト	雨訪3-20地先 4-33歩線	植樹帯内花壇管理及び周辺のベテ清掃
17	●	Brillia多摩センターアウトドアリビングクラブ	鶴刈3-2地先 5-36歩線	植樹帯内花壇管理及び周辺のベテ清掃
18	●	多摩センター地区連絡協議会	落合1-43地先 5-33歩線 40mベテ内 パルテノン大通り(京王プラザ前)	植樹帯内花壇管理及び周辺のベテ清掃
19	●	虹の会(永山福祉学)	永山4-1地先 4-11歩線	植樹帯内花壇管理及び周辺のベテ清掃
20		東京都立永山高等学校	永山地内	永山高校周辺街路&ベテの清掃
21	●	Green Finger's Club	芝田608〜1163番地先 5-5号線(芝田川左岸)	植樹帯内花壇管理及び周辺の道路清掃
22		多摩センター商店街	落合1-7地先 5-42、43号線(芝田川左岸)	植樹帯内花壇管理及び周辺の道路清掃
23		杜の丘	豊ヶ丘2-18地先	植樹帯内花壇管理及び周辺の道路清掃
24	●	花コミ	鶴刈3-14-5地先	植樹帯内花壇管理、除草
25		みらい保育園	豊ヶ丘1-1-4地先	植樹帯内低木剪定、除草
26		グリーングラス	南木田1-40-1地先	植樹帯内花壇管理
27	●	ライオンズマンション多摩センター園芸サークル・三葉東京UFJ銀行	落合1-35地先	植樹帯内花壇管理
28	●	諏訪名店街	雨訪5-6-3地先	植樹帯内花壇管理
29	●	芝田スマイルタウン	芝田829地先	植樹帯内花壇管理
30		たのしい川辺	連光寺1-2-1地先	歩道内除草・清掃
31	●	医療社団法人めぐみ会	落合1-35地先	植樹帯内花壇管理
32	●	ひじり遊歩	豊ヶ丘2-7-14地先	植樹帯内花壇管理
33	●	コスモフォーラム多摩管理組合	豊ヶ丘3-5地先	植樹帯内花壇管理
34		花の階段	永山2-1-7	花壇管理、美化活動
35		Gサポーターズ	豊ヶ丘2-6-5地先	低木剪定・除草等
36	●	南木田コミュニティセンター運営協議会	南木田1-2 駅前広場	花壇管理、美化活動
37	●	三小クローバー	芝田712地先	花壇管理、美化活動
38	●	2525・G・Maker	芝田810地先	花壇管理、美化活動
39	●	オーベル多摩中央公園グリーンクラブ	落合2-32地先	花壇管理、美化活動
40	●	聖ヶ丘子どもおとしり見守り隊実行委員会	豊ヶ丘3-51地先	植樹帯内花壇管理
41		はなみずきの会	豊ヶ丘4-2地先	花壇管理、美化活動
42		ロイヤルハウジング(株)	豊ヶ丘4-2地先 5-33歩線	ベテ清掃
43		遊好会	栗原2-2地先 2-5歩線	植樹帯内花壇管理
44	●	ブリリア多摩ニュータウン フラワーロードの会	雨訪2-2地先 4-5歩線	花壇管理
45		黒川税理士事務所	落合1-15地先 5-74、87号線	道路清掃、美化活動
46		プロジェクトM	鶴刈3-17地先 6-4号幹線、6-1号幹線、6-131号線	歩道清掃
47		(株)みずほ銀行多摩センター支店	落合1-44先 5-86号線、5-31号歩線	歩道清掃
48	●	ひじり会・園芸部	豊ヶ丘2-103地先、豊ヶ丘2-39地先 3-171号線、3-4号歩線	花壇管理、美化活動、歩道清掃
49	●	リバーサイドさくら倶楽部	栗原4-8地先 5-21号歩線	植樹帯内花壇管理
50	●	サロン5-21 園芸部	永山5-21地先 広場 4-15号歩線	花壇管理、清掃、美化活動
51	●	ハッピーシェア倶楽部	落合1-44地先 5-31号歩線	植樹帯内花壇管理
52	●	D棟さくらんぼの会	雨訪2-2地先 4-5号歩線	植樹帯内花壇管理
53	●	樹 樹	貝取1-2地先 5-8号歩線	植樹帯内花壇管理
54		郡立 多摩桜の丘学園	豊ヶ丘1-17地先 3-1号幹線、3-2号幹線、3-1号歩線	歩道、ベテ内清掃、ゴミ拾い
55	●	スズランの会	豊ヶ丘5-3地先 5-14号歩線、5-21号歩線	花壇管理、美化活動、歩道清掃
56	●	夢灯り実行委員会	永山6-1地先 4-18号歩線、4-69号歩線	花壇管理、美化活動、歩道清掃
57	●	ヤマト運輸株式会社 ネコサポステーション貝取センター	貝取4-2地先 5-14号歩線	花壇管理、美化活動、歩道清掃
58		豊ヶ丘・貝取商店街	豊ヶ丘4-10地先 5-14号歩線	花壇管理、美化活動、歩道清掃

(3)結果

- ・ 調査対象とした35団体43カ所の花壇で種類が確認できた植物は全部で132種類(ヤブランと斑入りヤブランのように園芸品種的な違いも区別した)。
- ・ 132種類の内訳は、木本(扱い含む)21種類、宿根草(扱い含む)77種類、一年草(扱い、二年草含む)34種類。
- ・ 宿根草の種類数は最も多かったが、77種類のうち1カ所の花壇だけに植栽されていたものが57種類(約74.0%)であった。
- ・ 一年草は34種類のうち1カ所の花壇だけに植栽されていたものが10種類(約29.4%)であった。
- ・ 最も多く植栽されていたのはサルビア・ファリナセア(ブルーサルビア)で25カ所。以下、フレンチマリーゴールド22カ所、ペゴニア・センパフローレンス20カ所、サルビア・スプレndenシス18カ所、ポーチュラカ15カ所、ニチニチソウ13カ所。10カ所以上に使われていた植物は以上6種類で、いずれも外来の一年草(扱い含む)である。
- ・ 上記6種類はいずれも被度が高い傾向にあった。
- ・ 在来植物及び在来植物起源と推測される植物(以下あわせて在来植物とする)は、木本7種類(約33.3%)、宿根草21種類(約27.3%)、一年草は0種類。
- ・ 在来植物のうち常在度(ここでは調査対象の全花壇のうち、ある種類の植物が植栽されている割合とする)が高かったのは、斑入りヤブラン10カ所、リュウノヒゲ8カ所、ホトトギス6カ所、リュウノウギク5カ所、ヒガンバナ5カ所。
- ・ 在来植物は、数カ所の花壇で斑入りヤブラン、ホトトギス、リュウノウギク、シラン等の被度が高いものもあったが、それ以外は被度が概ね1以下で低かった。
- ・ 植栽種類数で団体を区分すると、20種類以上が3団体(最多は27種類)、19~10種類が11団体、9種類以下が21団体(最少は2種類)。
- ・ 階層構造が2層に分けられた花壇をつくっていた団体は15団体、単層構造の花壇をつくっていた団体は20団体であった。なお、3層に分けられた花壇はなかった。
- ・ 2層構造の花壇の方が植栽種類数が多い傾向にあった(単層構造の花壇は最多で16種類)。
- ・ 2層構造の花壇の方が面積は概ね広い傾向にあったが、4㎡以下の2層花壇が7カ所ある一方、10㎡以上の単層花壇が2カ所あるなど、例外も見られた。

(4) 考察

調査の結果、市内の花壇は以下の4群に類型化できた。

① 宿根草主体の花壇:4団体5カ所

環境は高木の下やビルに挟まれた場所など、日当たりがやや悪い傾向にある場所という共通点があった。また、5カ所のうち4カ所が多摩センター駅南口のペデストリアン通路に集中していた。花壇面積は8~18㎡全体の中では比較的広い花壇といえる。5カ所の花壇のうち4カ所は2層構造で、そのうち3カ所は植栽種類数が15以上と多かった。残りの1カ所と、単層構造の1カ所は植栽種類数が10以下であった。5カ所すべての花壇で一年草の植栽率が1%以下と低かった。ヤブラン、ホトトギス、リュウノヒゲなどの在来植物が常在度、被度ともに高かった。一方、クリスマスローズ、ツルニチニチソウの常在度と、いずれも1カ所の花壇だがアガパンサス、ヘリアンサスsp.などの被度も高かった。日陰地のため、耐陰性のある在来の宿根草が主体の花壇となっている。

② 宿根草・一年草混植の花壇:14団体17カ所

本群の花壇は一年草のサルビア・ファリナセアやフレンチマリーゴールドなど常在度が高い植物の被度が高く、それらを主体とする一方、宿根草も被度はやや低いが多種類植栽されていた。

本群はさらに以下の2亜群に細分できた。

i) 在来植物が多い花壇:6団体6カ所

環境は4カ所が木の下やや日当たりの悪い立地であった。面積は18㎡が1カ所、7㎡が1カ所、4㎡以下が3カ所であった。いずれも2層構造の花壇で、植栽種類数は10以上が3カ所、9~7が3カ所であった。宿根草はホトトギス、リュウノウギク、シランなどの在来植物がやや高い被度で植栽されていた。宿根草、一年草、在来植物、外来植物、それぞれ混植された花壇である。

ii) 在来植物が少ない花壇:10団体11カ所

環境に共通点はみられなかった。面積は45㎡、12㎡がそれぞれ1カ所ずつある以外は、いずれも4㎡以下であった。2層構造の花壇が3カ所、単層構造が8カ所であった。植栽種類数は10以上が8カ所、8以下が3カ所であった。宿根草はクリスマスローズ、シロタエギク、ラムズイアーなどがやや高い被度で植栽されていた。宿根草と一年草は植栽されているが、在来植物に乏しい花壇である。

③一年草主体の花壇:18団体21ヵ所

環境に共通点はみられなかった。面積は10㎡が1ヵ所、4~8㎡が7ヵ所、4㎡未満は13ヵ所で、狭小な花壇が多かった。2層構造の花壇が3ヵ所、単層構造の花壇が18ヵ所であった。植栽種類数はすべて8以下で、最少は2(1ヵ所)であった。全体に植栽種類数が少なく、単層構造で、サルビア・ファリナセア、フレンチマリーゴールド、ペゴニア・センパフローレンス、サルビア・スプレンドENSなど、常在度が高い一年草が主体の花壇である。

5. まとめ

本稿では、コミュニティー花壇のあり方を検討することを目的として、道路アダプト花壇の実践と実態調査の結果を報告した。

実態調査から、大半の道路アダプト花壇では外来の一年草が多く植栽されており、宿根草や在来植物を植栽している花壇は多摩センター駅南口や日陰地に偏っていることが明らかになった。したがって、市内全体でみると、本学で実践している宿根草主体で、ローメンテナンス・ローコストの花壇はまだあまりつくられていない状況にあるといえる。

一方、市民の方々と本学学生との協働による多摩センター駅前プロジェクトでは、市民の方々が求める花壇と本学の花壇づくりの理念との間に若干の隔りがあることも明らかになった。ローメンテナンス・ローコスト化だけでなく、本学が実践する植物の成長過程や季節変化、自然との調和という部分をも観賞対象としていくコミュニティー花壇の普及を目指していくうえでは、市民との協働による花壇づくりを通して相互理解を深めていくことが重要である。そして、より多彩な花壇を市内街路につくりあげ、市民だけでなく市を訪れた人々に対しても魅力的な街路空間を創造していくことが求められる。

謝辞

多摩センター駅前花壇プロジェクトを市民、大学協働という形へと展開するきっかけを作り、その後ともに活動していただいている多摩市在住の小川五郎氏をはじめ、市民グループの皆様にこの場をお借りして感謝を申し上げます。

参考文献

丸山美夏・西村悟郎、2013.「多摩センター駅前花壇概要」、園芸文化9, 69-87.

